

令和 4 年 度

博士課程前期 2 年の課程学生募集要項

(令和 4 年 4 月入学)

〔一般選抜(第 2 次募集)〕

〔社 会 人 特 別 選 抜〕

〔外国人留学生等特別選抜〕

令和 3 年 10 月

東北大学大学院工学研究科

※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、募集要項の内容を変更する場合がありますので、本研究科下記 URL の大学院入試情報 Web ページに注意してください。
<https://www.eng.tohoku.ac.jp/admission/>

【工学研究科の入学者選抜方針（博士課程前期2年の課程）】

◇アドミッション・ポリシー

東北大学大学院工学研究科は、自然と人間に対する深い知識と広い視野を基本とし、安全安心で豊かな社会の実現のために倫理観と気概をもって自ら考えて研究を遂行し、将来の科学技術の発展と革新を担うことができる豊かな創造性と高い研究能力を有する研究者の養成、並びに高度な専門的知識のみならず長期的な展望や国際的な視野を備え、社会の持続的発展に貢献できる中核的専門技術者の育成を目指します。

具体的には、創造性と高い研究能力を有する研究者や社会の持続的発展に貢献できる中核的専門技術者を志す、次の学力および能力をもつ人を求めます。

1. 工学を学ぶための基礎学力
2. 問題解決のための論理的思考能力
3. 教育・研究環境に適応し、国際的に活躍するための語学力

このため、学生の受け入れにあたっては、一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生等特別選抜、推薦入学特別選抜、9月卒業見込者・既卒者を対象とする選抜、早期卒業制度による卒業者を対象とする特別選抜、および英語による教育を提供する国際学位コースに関する選抜の枠を設けて入学試験を実施し、上記の教育理念・目標に沿った研究を行うために必要な高い能力と資質を備えているか否かを重視して選抜を行います。

外国人留学生等特別選抜に関する選抜では、工学に関する基礎知識と専門的知識を評価する筆記試験等および入学者としての適性を見るための面接試験等を行い、語学力を合わせて総合的に評価して選抜を行います。

社会人特別選抜では、研究計画と研究意欲等を総合的に評価して選抜を行います。必要に応じて一般選抜と同様の筆記試験等と語学力の評価を合わせて選抜を行います。

◇教育目的および教育目標

工学研究科は、東北大学の伝統である「研究第一主義」、「門戸開放」、「実学尊重」の理念の下、自然と人間に対する深い知識と広い視野を基本とし、安全安心で豊かな社会の実現のために倫理観と気概をもって自ら考えて研究を遂行し、将来の科学技術の発展と革新を担うことができる豊かな創造性と高い研究能力を有する研究者の養成、並びに高度な専門的知識のみならず長期的な展望や国際的な視野を備え、社会の持続的発展に貢献できる中核的専門技術者の育成を教育目的とする。

具体的には、前期課程にあつては、研究遂行に必要な幅広い基礎学力と語学力を習得し、研究課題を独自の発想によって展開させ、論文等として発表する能力を備えるとともに、専門分野における研究能力、あるいは研究・技術指導のための基本的能力と高度な技術を有する人材を育てることを教育目標とする。

◇ディプロマ・ポリシー

東北大学工学研究科では、所定の期間在学し、工学研究科の教育目的及び教育目標に沿って設定された授業科目を履修して、所定の単位以上を修得し、高い倫理観と責任感、そして以下の知識と能力を身につけた上で、修士論文または特定の課題についての研究成果の審査及び最終試験に合格した学生に対して、修士（工学）の学位を授与する。

1. 研究課題の本質を理解し探究できる幅広い基礎知識と基礎学力
2. 専門分野に関する深い知識
3. 専門分野に関連した学際的知識
4. 異なる専門分野の知識の統合によるシステム設計能力
5. 研究の課題設定と課題解決能力
6. 研究の高度な実践能力と応用展開能力
7. 研究の遂行に必要な語学力
8. 研究指導または技術指導のための基本的能力

◇カリキュラム・ポリシー

東北大学工学研究科では、ディプロマ・ポリシーで示した知識と能力を学生が身につけることができるよう、以下の方針に沿って教育を行う。

1. 研究課題の本質を理解し、研究を遂行、展開するために必要な幅広い基礎知識、高度な専門知識及び専門分野に関連した学際的知識を修得させる。
2. 研究課題に対する高度な実践能力、その研究課題を独自の発想によって展開できる能力を育成する。
3. 研究の遂行及び研究成果を発表するのに必要な語学力を育成する。

上記の方針を実践するため、工学研究科全体で共通科目を開講するとともに、専攻ごとに専門基盤科目、専門科目、関連科目を設定し、カリキュラムマップにより教育課程の全体像を把握できるようにしている。専門基盤科目は主に講義形式で提供し、専門科目は講義形式の他、セミナー、修士研修等で構成されている。講義形式の科目は、各専攻における幅広い基礎知識および高度な専門知識を修得させる目的で提供し、科目ごとに教授内容、達成方法、時間外学修の指針等を明示したシラバスを作成している。セミナー科目は最新技術あるいは自身の研究成果に関する発表および討論を通して当該分野の研究課題を俯瞰する力や研究の実践力を養成する。修士研修は個別の課題に関する研究と修士学位論文の執筆を通して高度な研究を実践する能力と展開力および語学力を養う。

講義科目では、定期試験やレポート等の手段により基礎知識、基礎学力、専門知識等を講義担当教員が評価する。成績評価方法の詳細については科目ごとにシラバスに記載している。セミナー科目では発表や討論を通して学術論文や技術資料を理解する能力を当該専攻の教員が評価する。修士研修では研究室における研究活動、国内外の学会における発表、修士学位論文および審査会における議論の内容を基に、独自の発想により研究課題を展開させ遂行する能力、学会における研究発表や討論の能力、外国語によるプレゼンテーション能力、演習・実験の補助能力、学術報告書の作成能力等を指導教員が評価する。

1 募集する専攻及び募集人員

○ 一般選抜（第2次募集）

専攻名	募集人員
量子エネルギー工学専攻	若干名
応用物理学専攻	8名

○ 社会人特別選抜，外国人留学生等特別選抜

専攻名	募集人員		専攻名	募集人員	
	社会人	留学生等		社会人	留学生等
機械機能創成専攻	若干名	若干名	応用化学専攻	若干名	若干名
ファインメカニクス専攻	〃	〃	化学工学専攻	〃	〃
ロボティクス専攻	〃	〃	バイオ工学専攻	〃	〃
航空宇宙工学専攻	〃	〃	金属フロンティア工学専攻	〃	〃
量子エネルギー工学専攻	〃	〃	知能デバイス材料学専攻	〃	〃
電気エネルギーシステム専攻	〃	〃	材料システム工学専攻	〃	〃
通信工学専攻	〃	〃	土木工学専攻	〃	〃
電子工学専攻	〃	〃	都市・建築学専攻	〃	〃
応用物理学専攻	〃	〃	技術社会システム専攻	〃	〃

2 出願資格

- ◎ 一般選抜（第2次募集）に出願できる者は，下記の（１）～（１０）のいずれかに該当する者としてします。
- ◎ 社会人特別選抜に出願できる者は，原則として大学等卒業後，技術者・教員・研究者等として，入学時において２年以上勤務経験があり，下記の（１）～（１０）のいずれかに該当する者としてします。
- ◎ 外国人留学生等特別選抜に出願できる者は，外国人留学生又は外国の大学において学校教育を受けた者で，下記の（２）～（１０）のいずれかに該当する者としてします。ただし，日本の大学を卒業したか若しくは令和４年３月までに卒業見込みの外国人留学生については出願できます。
 - （１） 大学を卒業した者及び令和４年３月までに卒業見込みの者
 - （２） 大学改革支援・学位授与機構より学士の学位を授与された者及び令和４年３月までに学士の学位を授与される見込みの者
 - （３） 外国において，学校教育における１６年の課程を修了した者及び令和４年３月までに修了見込みの者

- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和4年3月までに修了する見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和4年3月までに修了する見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって我が国において、外国の大学の課程を有するものとして文部科学大臣の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和4年3月までに学士の学位に相当する学位を授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和4年3月までに修了する見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学の大学院に入学した者であって、本大学院においてその教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (10) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの

[注1] 出願予定の者のうち、本学に雇用されている者については、令和3年12月10日（金）までに工学部・工学研究科教務課大学院教務係へ問い合わせてください。

[注2] 出願者は、入学後の研究計画等について事前に当該専攻（専攻長）へ問い合わせてください。

[注3] 出願資格（6）によって出願しようとする者は、事前に工学部・工学研究科教務課大学院教務係へ問い合わせてください。

[注4] 出願資格（9）～（10）によって出願しようとする者は、出願資格審査を行いますので、事前に志望する系・専攻の事務室（別表備考欄参照）へ問い合わせてください。

[注5] 本研究科は、「大学に3年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む）であって、本大学院が定める単位を優秀な成績で修得したと認めるもの」に

関する出願資格は適用しません。

3 願 書 受 付

受付期間は、令和4年1月4日（火）から1月11日（火）までとします。

【郵送の場合は、受付期間最終日必着です】

【1月12日（水）以降は窓口、郵送到着分ともに出願書類を受け付けませんのでご注意願います】

なお、土曜日・日曜日及び祝祭日は受付を行いません。

また、受付時間は、9時から16時までとします。

（ただし、11時45分から13時までを除きます。）

受付場所（郵送先）：東北大学工学部・工学研究科教務課大学院教務係

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-04

4 出 願 手 続

出願者は、次の書類等を調べて受付期間内に提出してください。

また、提出する証明書は原則として日本語又は英語のものとし、それ以外の言語の場合は各証明書の発行元が証明した和訳又は英訳を添付してください。

上記の取り扱いが困難な場合は、出願前に工学部・工学研究科教務課大学院教務係へ問い合わせてください。

※ 一度提出した出願書類の差替え等は一切認めません。

※ 受付後の出願取下げは認めません。

※ 証明書は原本を提出してください。

（原本のコピー、電子ファイル、電子ファイルからの印刷物等は原本とはみなしません。）

※ 願書等の書類や封筒に記入する際には、黒ペンではっきりと判読できるように記入してください（鉛筆書き及び摩擦で文字が消えるペンによる記載は不可）。

※ 出願書類に虚偽の申告をした者については、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。

提出書類等	摘 要
入 学 願 書	本研究科所定の用紙
推 薦 書	本研究科所定の用紙を用い、受入れ予定教員が作成したもの。 (ただし、推薦書を提出できない者は、受入れ予定教員の承諾書) (金属フロンティア工学専攻、知能デバイス材料学専攻、材料システム工学専攻を志願する者は、必ず推薦書を提出してください。) (量子エネルギー工学専攻、応用物理学専攻を一般選抜(第2次募集)で志願する者は提出不要です。)
成 績 証 明 書	出身大学の学部長等の発行するもの。 (ただし、本学工学部在籍者は提出不要です。)
TOEFL® Test 又は TOEIC® Listening & Reading Test (以下、TOEIC®公 開テストと記載) スコアシートの原本 有効となる試験: TOEFL®Test PBT, TOEFL iBT®Test, TOEIC®公開テスト	下記①～③のいずれかに該当する出願者は提出してください。ただし、応用化学専攻、化学工学専攻、バイオ工学専攻を志願する者は提出不要です。 ① 外国人留学生等特別選抜で機械機能創成専攻、ファインメカニクス専攻、ロボティクス専攻、航空宇宙工学専攻、量子エネルギー工学専攻、電気エネルギーシステム専攻、通信工学専攻、電子工学専攻、応用物理学専攻、金属フロンティア工学専攻、知能デバイス材料学専攻、材料システム工学専攻、土木工学専攻、都市・建築学専攻、技術社会システム専攻を志願する者 ② 社会人特別選抜で金属フロンティア工学専攻、知能デバイス材料学専攻、材料システム工学専攻を志願する者 ③ 量子エネルギー工学専攻、応用物理学専攻を一般選抜(第2次募集)で志願する者 <u>提出されたスコアシートは原則返却しません。</u> <u>ただし、TOEFL®Test [受験者用控えスコアレポート] に限り、出願時に申し出があれば試験当日に返却します。</u> <u>TOEFL®Test (公式スコアレポート) を本研究科宛て直接送付する際のコードは「8958」です。</u> 本研究科では、TOEFL iBT®テストにおいて Test Date スコアのみを出願スコアとして利用します(MyBest™スコアは利用しません) ◆<u>TOEFL及び第283回までのTOEIC公開テストのスコアシートを提出する場合</u> ・スコアシートを含めたすべての出願書類を、「3 願書受付」に記載の受付期間内に提出してください。 ◆<u>第284回または第285回TOEIC公開テストのスコアシートを提出する場合</u> ・スコアシートを除いたその他の出願書類を、「3 願書受付」に記載の受付期間内に提出してください。 ・スコアシートは、<u>1月26日(水)【必着】までに「3 願書受付」に記載の受付場所に提出してください</u>(土曜日・日曜日及び祝日は受付を行いません)。郵送により提出する場合は、任意の封筒に朱書きで「スコアシート在中」とし、送付してください。提出の際は、スコアシートの裏面に願した専攻名を記入してください。 注 一度提出したスコアシートの差替え等は一切認めません。 例) 第283回TOEIC公開テストのスコアシートを提出後、第284回TOEIC公開テストなど別のスコアシートを再提出することはできません。

	注 願書受付期間外に提出できるスコアシートは、第284回または第285回TOEIC公開テストのスコアシートに限ります。 例)第283回TOEIC公開テストのスコアシートやTOEFLのスコアシートを「3願書受付」に記載の受付期間外に提出することはできません。 注 外国人留学生等特別選抜において、機械機能創成専攻、ファインメカニクス専攻、ロボティクス専攻、航空宇宙工学専攻では基準点を設けています。詳細は別表を確認してください。 <u>*受入予定教員の理由書(様式任意)をもって、スコアシートの提出免除、または願書受付期間外の第283回までのTOEIC公開テストのスコアシート提出が認められる場合があります。(一般選抜(第2次募集)を志願する者は除きます)*</u> ※TOEFL, TOEFL iBT, TOEFL ITP および TOEIC はエデュケーショナル・テスト・サービス (ETS) の登録商標です。
卒業(見込)証明書又は学位授与(申請受理)証明書	出身大学の学部長等又は大学改革支援・学位授与機構が発行するもの。
受験票・写真票	上半身無帽像で3か月以内に撮影した写真を写真票に貼ってください。
住民票の写し	<u>本邦に在留する外国人の方(在留期間が90日を超える者)のみ</u>提出してください。 (出願日前3か月以内に発行されたもので個人番号(マイナンバー)の記載がなく、在留資格が明記されたもの)
検定料	①検定料は、ATM(金融機関、コンビニエンスストア)やインターネットバンキング等をご利用のうえ、下記により納入してください。 ※振込依頼人名は、必ず出願者本人のカナ氏名を登録すること。 ※振込先口座情報、金額、振込日、振込依頼人名等がわかるもの (例: ATMの利用明細(写)、インターネットバンキングの振込完了画面のコピー)を検定料納付確認書に貼り付けること。 ※振込手数料については、出願者本人負担となります。 金 額: 30,000円 納入期限: 1月7日(金)【期限厳守】 銀 行: 三菱UFJ銀行 銀行コード: 0005 支 店: わかたけ支店 支店コード: 809 預金種別: 普通 口座番号: 2259225 口座名義: 国立大学法人東北大学 カ ナ: ダｲﾄﾞﾎｸﾀﾞｲｸﾞ ②国費外国人留学生及び入学検定料免除申請者は納付不要です。 災害の被災者に対する入学検定料の免除については、次のウェブサイトをご参照ください。 https://www.eng.tohoku.ac.jp/admission/grad/disaster.html ③海外在住の方等で、上記金融機関への振込みが非常に困難な場合は、事前に大学院教務係(9頁参照)までご連絡ください。
出願用封筒	本研究科所定の封筒の差出人欄を記入し、提出してください。
受験票送付用封筒	本研究科所定の封筒に住所、氏名、郵便番号を明記し、郵便切手94円分を貼ってください。
合格通知用封筒	本研究科所定の封筒に住所、氏名、郵便番号を明記してください。

〔注〕前記書類のほか、それぞれ次の書類を提出してください。

◎ 一般選抜（第2次募集）志願者

提出書類等	摘 要
受 験 承 諾 書	所属長の発行したもの。 ただし、在職のまま入学する者に限ります。 (社印等のあるもの・様式随意)
確 認 書	本研究科所定の用紙で受入予定教員又は専攻長が作成したもの。 ただし、外国人留学生及び外国の大学で学校教育を受けた者に限ります。(研究計画等を確認していることを記したもの)

◎ 社会人特別選抜志願者

提出書類等	摘 要
研究又は業務の要旨	技術者・教員・研究者等として勤務した期間のもの。 (1,000字程度, A4判1ページ)
研究計画書	1,000字程度, A4判1ページ
在 職 証 明 書	在職期間, 職務内容, 身分を記載し, 所属長の発行したもの。 (社印等のあるもの・様式随意) 在職のまま入学する者は不要。
受 験 承 諾 書	在職期間, 職務内容, 身分を記載し, 所属長の発行したもの。 (社印等のあるもの・様式随意) ただし, 在職のまま入学する者に限ります。

◎ 外国人留学生等特別選抜志願者

提出書類等	摘 要
推 薦 書	出身大学の指導教員又はそれに準ずる者が作成したもの。 (様式随意)
日 本 語 能 力 証 明 書	日本語教員・指導(予定)教員等が作成したもの。(様式随意) ただし, 機械機能創成専攻, ファインメカニクス専攻, ロボティクス専攻, 航空宇宙工学専攻を志願する者は提出不要です。
受 験 承 諾 書	所属長の発行したもの。(社印等のあるもの・様式随意) ただし, 在職(国内外問わず)のまま入学する外国人留学生等に 限ります。
そ の 他 参 考 資 料	学力を表す論文・報告書など。

5 選 抜 方 法 等

入学者の選抜は、別表に記載されている試験科目の結果及び提出書類等を総合して判断します。

試験日時：令和4年2月28日（月）から3月2日（水）までの間に別表によって行います。

試験場所：東北大学大学院工学研究科（詳細については、各専攻から本人あてに通知します。）

6 合格者発表

令和4年3月7日（月）17時頃に東北大学工学研究科・工学部ウェブサイト（<https://www.eng.tohoku.ac.jp/>）に発表する予定です。

なお、合格者に対しては、合格通知書を郵送します。電話による問い合わせには回答できませんのでご了承ください。

7 入学手続等

（１） 入学手続は、令和4年3月17日（木）に実施の予定です。詳細については、令和4年3月上旬に合格通知書を送付する際にお知らせします。

（２） 入学時の必要経費

① 入 学 料 282,000円（予定額）

② 授業料前期分 267,900円（年額535,800円）（予定額）

注1 上記の納付額は予定額であり、納付金の改定が行われた場合には、改定時から新しい納付金額が適用されます。

注2 入学料及び授業料の納付に関しては、令和4年3月上旬に送付する入学手続に関する書類でお知らせします。また、免除、徴収猶予等の手続きに関しては、東北大学のウェブサイト（<https://www.tohoku.ac.jp/>）にアクセスし、「東北大学で学びたい方へ」→「入学料及び授業料等免除」の順にクリックしてご覧ください。

8 長期履修学生制度の適用

本研究科では、特別の事情〔注1〕によって、標準修業年限である2年を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、修了する〔注2〕ことを願い出た者については、審査の上許可することがあります。この制度の適用者は「長期履修学生」といい、当該学生の授業料支払総額は、標準修業年限による修了者と同額です。この制度に関する照会は随時受け付けますので、工学部・工学研究科教務課大学院教務係に問い合わせてください。

長期履修学生制度の適用を希望する者は、合格後の入学手続時に所定の願い出を行う必要があります。なお、適用は入学時からとし、在学途中からの長期履修学生への変更はできません。

〔注1〕 該当者：① 企業等に勤務している者及び自ら事業を行っている者

② 出産・育児、介護等を行う必要がある者

③ その他、本研究科が適当と認める者（経済的な理由を除く。）

※ 原則として社会人特別選抜合格者に限りますが、その他の選抜を志願する者で、この制度の適用を希望する場合は工学部・工学研究科教務課大学院教務係に事前にご照会ください。

〔注2〕 在学年限は4年を超えることはできませんが、許可された在学年限の短縮を願い出る

ことはできます。

なお、長期履修学生のためのカリキュラムは、原則として特別に用意しません。

9 個人情報の取扱いについて

- (1) 本学が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人東北大学個人情報保護規程」に基づき厳密に取り扱い、個人情報保護に万全を期しています。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入学者の選抜、入学手続、追跡調査、入学後の学生支援関係（奨学、授業料免除及び健康管理等）及び修学指導等の教育目的並びに授業料徴収等の関係に利用します。
- (3) 入学後、教務関係の業務については、本学より業務委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）が行うことがあります。業務委託に当たっては、その必要性に応じて「国立大学法人東北大学個人情報保護規程」に基づき、個人情報の全部又は一部を受託業者に提供します。

10 注 意 事 項

- (1) 「受験案内（各専攻の専門分野等を掲載）」は、東北大学工学研究科・工学部ウェブサイト（<https://www.eng.tohoku.ac.jp/>）に掲載していますので、出願の際には必ず確認してください。
- (2) **願書郵送の場合は、出願用封筒を用い必ず速達書留で郵送してください。**
願書受理の通知は出しませんが、受理確認を希望する者は、あて名記載の郵便はがきを同封してください。
- (3) 出願書類及び検定料は返付しません。
- (4) 受験票が試験日10日前になっても到着しない場合は、志望した系・専攻の事務室（別表備考欄参照）に問い合わせてください。
- (5) 募集事務に関することは、工学部・工学研究科教務課大学院教務係に問い合わせてください。
- (6) 郵便で募集要項（入学願書等の本研究科所定用紙・封筒3種類付き）を請求する場合は、住所、氏名、郵便番号を明記し、募集要項1冊請求につき郵便切手250円分（速達で郵送希望の場合は540円分）を貼った返信用封筒（角形2号、約34cm×約24cm）を同封してください。
- (7) 受験及び修学上の配慮を必要とする入学志願者のための相談を行っていますので、相談を希望する者は、次の事項を記載した申出書（様式任意）を提出してください。申出書の提出を理由として、合否判定の際に不利に扱われることはありません。

*相談の期限：原則として令和3年12月1日（水）まで

＊ 申出書に記載する内容

- ① 志願者の氏名・住所・電話番号
 - ② 出身大学等
 - ③ 受験上の配慮を希望する事項
 - ④ 修学上の配慮を希望する事項
 - ⑤ これまで認められたことのある配慮の内容
 - ⑥ 日常生活の状況
 - ⑦ その他参考となる資料（現に治療中の者は、医師の診断書を添付）
- (8) 本学では、外国為替及び外国貿易法に基づき、国立大学法人東北大学安全保障輸出管理規程を定め、外国人留学生等の受入れに際し審査を実施しています。規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究テーマに制約がかかる場合があります。

令和3年10月

東北大学大学院工学研究科

(工学部・工学研究科教務課大学院教務係)

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-04

電話 (022) 795-5820

e-mail : eng-in@grp.tohoku.ac.jp

別表 (前期2年の課程：令和4年4月：一般選抜（第2次募集），社会人特別選抜，外国人留学生等特別選抜）

専攻	選抜	試験科目	試験日時	試験内容		備考
航空宇宙工学専攻 フライトメカニクス専攻 機械能創成専攻	社会人	数 学 A (選択)	2月28日(月) 9時30分～10時30分 (集合時間 8時50分)	微積分，線形代数，ベクトル解析	数学A，数学B，専門5科目，計7科目の中から2科目を選択 予め申告(専攻事務室より照会する)	(1) 各科目の出題範囲については専攻に照会するか，あるいは以下のホームページで確認すること。 http://www.mech.tohoku.ac.jp/ (2) 専門科目試験終了時刻は下記のとおりとする。 1科目選択の場合：16時15分 2科目選択の場合：16時45分 (3) 電卓および計算機能，通信機能のある時計や電話機などの持ち込みを認めない。 (4) 筆答試験で合格した者のみ面接試験を行う。 (5) オンライン試験となる可能性が高いためインターネット環境を確保し，パソコン，WEBカメラ及びカメラ機能付きスマートフォン（又はスキャナー）を用意してください。 (6) オンライン試験か現地試験かは受験票発送時(2月上旬)にお知らせします。
		数 学 B (選択)	2月28日(月) 13時00分～14時00分	常微分方程式，偏微分方程式，フーリエ級数・変換，ラプラス変換		
		専門科目 (選択)	2月28日(月) 15時45分～16時45分	熱力学，流体力学，材料力学，機械力学，制御工学		
		予 備 日	3月1日(火)	数学及び専門科目試験の予備日		
		面 接	3月2日(水) (集合時間は専攻より指示する)	・これまでの研究内容および入学後の研究計画等 ・英語の能力を問う場合もある		
		専攻照会先：機械・知能系教務担当 (TEL) 022-795-7030				
	外国人留学生等	英 語		入学試験実施日から過去2年以内に受験した TOEFL®Test または TOEIC®公開テストのスコアシートの原本を出願時に提出すること。TOEFL iBT Home Edition のスコアも認める。英語を母語とする学生は，個別に問い合わせること。		スコアシートの提出を免除された英語を母語とするネイティブの志願者を除き，願書受付期間内に，スコアシートの原本を提出できない場合は，出願を受理しない。(ただし，願書受付期間後に提出できる回の TOEIC®公開テストのスコアシートを提出する場合を除く。その場合でも，指定期日までに提出されなかった場合には，「不合格」とする。)スコアシートにおける Test Date スコアが基準（TOEFL-PBT550点，TOEFL-iBT79点または TOEIC730点）に満たない場合は「不合格」とする。
		数 学 A (必答)	2月28日(月) 9時30分～10時30分 (集合時間 8時50分)	微積分，線形代数，ベクトル解析		(1) 成績証明書の内容によって，筆答試験を免除することがある。
		数 学 B (必答)	2月28日(月) 13時00分～14時00分	常微分方程式，偏微分方程式，フーリエ級数・変換，ラプラス変換		(2) 各科目の出題範囲については専攻に照会するか，あるいは以下のホームページで確認すること。 http://www.mech.tohoku.ac.jp/
		専門科目 (選択)	2月28日(月) 15時45分～16時45分	熱力学，流体力学，材料力学，機械力学，制御工学 以上の5科目の中から2科目を選択		(3) 電卓および計算機能，通信機能のある時計や電話機などの持ち込みを認めない。 (4) 筆答試験で合格した者のみ面接試験を行う。
		予 備 日	3月1日(火)	数学及び専門科目試験の予備日		(5) オンライン試験となる可能性が高いためインターネット環境を確保し，パソコン，WEBカメラ及びカメラ機能付きスマートフォン（又はスキャナー）を用意してください。
		面 接	3月2日(水) (集合時間は専攻より指示する)	卒業論文等の内容および入学後の研究希望等		(6) オンライン試験か現地試験かは受験票発送時(2月上旬)にお知らせします。
専攻照会先：機械・知能系教務担当 (TEL) 022-795-7030						

専 攻	選 抜	試験科目	試験日時	試験内容	備 考
量子エネルギー工学専攻	一般選抜(第2次募集)	英 語		入学試験実施日から過去2年以内に受験した TOEFL®Test または TOEIC®公開テストのスコアシートの原本を出願時に提出すること。英語を母語とする学生は、個別に問い合わせること。	いずれのスコアシートも提出できない受験希望者については、募集要項で求めるスコアシートの提出がない場合でも、今回に限り出願を受理する。その場合、大学入学以降の英語の学力を示す資料(英検、TOEFL ITP、TOEFL iBT Special Home Edition Test 等)を可能な限り添付すること。
		数学 A (必答)	2月28日(月) 10時00分～11時00分 (集合時間9時30分)	微積分、線形代数、ベクトル解析	(1) 受験する言語(日本語または英語)を予め申告すること(専攻長室より照会する)。申告と異なる言語を選択することはできない。 (2) 成績証明書の内容によって、筆答試験を免除することがある。 (3) 専門科目として化学を希望する受験者は http://www.qse.tohoku.ac.jp/admission/admission_graduate.html を確認の上、出願前に量子エネルギー工学専攻長室(TEL022-795-7901)に連絡すること。出願前の連絡がない場合、化学を選択することはできない。 (4) 各科目の出題範囲については専攻に照会するか、あるいは以下のページで確認すること。 http://www.qse.tohoku.ac.jp/admission/admission_graduate.html (5) 電卓及び計算機能、通信機能のある時計や電話機などの持ち込みを認めない。 (6) 筆答試験はオンライン試験とする可能性があるためインターネット環境を確保し、パソコン、WEB カメラ及びカメラ機能付きスマートフォン(又はスキャナー)を用意すること。詳細については受験票発送時に連絡する。
		数学 B (必答)	2月28日(月) 13時00分～14時00分	常微分方程式、偏微分方程式、フーリエ級数・変換、ラプラス変換	
		専門科目 (選択)	2月28日(月) 15時45分～16時45分	熱力学、流体力学、材料力学、機械力学、制御工学、材料物性学、電磁気学、量子力学、化学(化学Ⅰ、化学Ⅱ) ・以上から2科目を選択し、予め申告すること(専攻長室より照会する)。申告と異なる科目を選択することはできない。 なお、化学(化学ⅠおよびⅡ)については選択に制約があるので備考欄(3)に従うこと。	
		面 接	3月2日(水) (集合時間は専攻より指示する)	入学者としての適性	専攻照会先： 機械・知能系事務室教務担当 (TEL) 022 - 795 - 7030

専 攻	選 抜	試験科目	試験日時	試験内容		備 考
量子エネルギー工学専攻	社会人	数学 A (選択)	2 月 28 日 (月) 10 時 00 分～11 時 00 分 (集合時間 9 時 30 分)	微積分, 線形代数, ベクトル 解析	数学 A, 数学 B, 専門科目の中から選択する 2 科目, および受験する言語日本語または英語を予め申告すること(専攻長室より照会する)。	(1) 研究業績や研究歴等により, 有資格者と認められた者については, 筆 答試験を免除する。免除条件の詳細 および筆答試験の免除申請方法に ついては受入予定教員に問い合わ せること。 (2) 専門科目として化学を希望する受 験者は http://www.qse.tohoku.ac.jp/ admission/admission_graduate. html を確認の上, 出願前に量子エ ネルギー工学専攻長室 (TEL 022 - 795 - 7901) に連絡すること。出 願前の連絡がない場合, 化学を選 択することはできない。 (3) 各科目の出題範囲については専 攻に照会するか, あるいは以下のホ ームページで確認すること。 http://www.qse.tohoku.ac.jp/admi ssion/admission_graduate.html (4) 専門科目試験終了時刻は下記の とおりとする。 1 科目選択の場合: 16 時 15 分 2 科目選択の場合: 16 時 45 分 (5) 電卓および計算機能, 通信機能の ある時計や電話機などの持ち込み を認めない。 (6) 筆答試験で合格した者のみ面接 試験を行う。筆答試験の可否発表方 法と時間は試験初日に連絡する。 (7) 筆答試験はオンライン試験とす る可能性があるためインターネット 環境を確保し, パソコン, WEB カメラ及びカメラ機能付きスマー トフォン (又はスキャナー) を用意 してください。詳細については受験 票発送時に連絡する。 専攻照会先: 機械・知能系事務室教務担当 (TEL) 022 - 795 - 7030
		数学 B (選択)	2 月 28 日 (月) 13 時 00 分～14 時 00 分	常微分方程式, 偏微分方程式, フーリエ級数・変換, ラプラス 変換		
		専門科目 (選択)	2 月 28 日 (月) 15 時 45 分～16 時 45 分	熱力学, 流体力学, 材料力学, 機械力学, 制御工学, 材料物性 学, 電磁気学, 量子力学, 化学 (化学 I, 化学 II) なお, 化学 (化学 I および II) については選択に制約がある ので備考欄(2)に従うこと。		
		面 接	3 月 2 日 (水) (オンラインで行う。 時間は専攻より指示 する)	面接試験 30 分程度 (卒業論文等のこれま での研究内容及び入学後の研究計画につ いての発表 15 分程度, 質疑等 15 分程度。 英語の能力および基礎学力を問う場合も ある)。		
	外国人留学生等	英 語		入学試験実施日から過去 2 年以内に受験 した TOEFL®Test または TOEIC®公開 テストのスコアシートの原本を出願時に 提出すること。英語を母語とする学生は, 個別に問い合わせること。		スコアシートの提出を免除された英 語を母語とするネイティブの志願者 を除き, いずれのスコアシートも提 出できない受験希望者については, 募 集要項で求めるスコアシートの提出 がない場合でも, 今回に限り出願を 受理する。その場合, 大学入学以降の 英語の学力を示す資料(英検, TOEFL ITP, TOEFL iBT Special Home Edition Test 等)を可能な限り添付す ること。
		数学 A (必答)	2 月 28 日 (月) 10 時 00 分～11 時 00 分 (集合時間 9 時 30 分)	微積分, 線形代数, ベクトル解析		(1) 受験する言語(日本語または英語) を予め申告すること (専攻長室より 照会する)。申告と異なる言語を選 択することはできない。
		数学 B (必答)	2 月 28 日 (月) 13 時 00 分～14 時 00 分	常微分方程式, 偏微分方程式, フーリエ 級数・変換, ラプラス変換		(2) 専門科目として化学を希望する受 験者は http://www.qse.tohoku.ac.jp/admi ssion/admission_graduate.html を 確認の上, 出願前に量子エネルギー 工学専攻長室 (TEL022-795-7901) に連絡すること。出願前の連絡が ない場合, 化学を選択することは できない。 (3) 各科目の出題範囲については専 攻に照会するか, あるいは以下のペ ージで確認すること。 http://www.qse.tohoku.ac.jp/admissio n/admission_graduate.html
		専門科目 (選択)	2 月 28 日 (月) 15 時 45 分～16 時 45 分	熱力学, 流体力学, 材料力学, 機械力 学, 制御工学, 材料物性学, 電磁気学, 量子力学, 化学 (化学 I, 化学 II) ・以上から 2 科目を選択し, 予め申告す ること (専攻長室より照会する)。申告と 異なる科目を選択することはできない。 なお, 化学(化学 I および II) につい ては選択に制約があるので備考欄(2)に従 うこと。		

		面 接	3月2日(水) (オンラインで行う。 時間は専攻より指示 する)	面接試問 30 分程度(卒業論文等これまでの研究内容及び入学後の研究計画についての発表 15 分程度, 質疑等 15 分程度。英語の能力および基礎学力を問う場合もある。)	(4) 電卓および計算機能, 通信機能のある時計や電話機などの持ち込みを認めない。 (5) 筆答試験で合格した者のみ面接試問を行う。筆答試験の可否発表方法と時間は試験初日に連絡する。 (6) 筆記試験はオンライン試験とする可能性があるためインターネット環境を確保し, パソコン, WEBカメラ及びカメラ機能付きスマートフォン(又はスキャナー)を用意すること。詳細については受験票発送時に連絡する。 専攻照会先: 機械・知能系事務室教務担当 (TEL) 022-795-7030
--	--	-----	---	---	--

専 攻	選 抜	試験科目	試験日時	試験内容	備 考
電 通 電 気 信 子 エ ネ ル ギ ー 工 工 シ ス テ ム 学 学 専 専 攻 攻	社 会 人	面 接	3月1日(火) 又は3月2日(水) (専攻より指示する)	これまでの研究の内容及び入学後の研究希望等について10分程度で発表。 資料を5部持参のこと。	研究内容に関連した基礎学力に関する口頭試問を課することがある。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため各試験の科目や実施方法に変更がある場合は変更内容を後日通知する。
	外 国 人 留 学 生 等	英 語		入学試験実施日から過去2年以内に受験した TOEFL®Test または TOEIC®公開テストのスコアシートの原本を出願時に提出すること。 TOEFL iBT Home Edition のスコアシートも認める。	(1) 各科目の出題範囲については、専攻に照会するか、あるいは以下のホームページで確認すること。 http://www.ecei.tohoku.ac.jp/ecei_web/admission/ (2) 電卓および計算機能、通信機能のある時計や電話機などの使用を認めない。
		基礎科目	2月28日(月) 9時40分～10時40分 (集合時間 9:00)	電磁気学、電気回路、情報基礎1、情報基礎2、物理基礎、数学基礎の6題から2題選択。	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため各試験の科目や実施方法に変更がある場合は変更内容を後日通知する。
		専門科目	3月1日(火) 9時40分～10時40分 (集合時間 9:00)	電気工学、通信工学、電子工学、計算機1、計算機2、物理専門の6題から2題選択。	
		面 接	3月1日(火) 又は3月2日(水) (専攻より指示する)	出身大学で受けた教育の内容又は卒業論文、及び入学後の研究希望等について10分程度で発表。 資料を5部持参のこと。 同時に日本語能力についても判定する。	専攻照会先： 電子情報システム・応物系教務担当 (TEL) 022-795-7186

専 攻	選 抜	試験科目	試験日時	試験内容	備 考
応用物理学専攻	一般選抜（第2次募集）	英 語		入学試験実施日から過去2年以内に受験した TOEFL®Test または TOEIC®公開テストのスコアシートの原本を出願時に提出すること。TOEFL iBT Home Edition のスコアシートも認める。	特別な事情がある場合は、下記照会先に相談のこと。
		基礎科目	2月28日（月） 9時30分～11時45分	力学，電磁気学，量子力学の3問	過去の入試問題は次のホームページに掲載している。 http://www.apph.tohoku.ac.jp/
		専門科目	2月28日（月） 13時00分～14時30分	統計力学，物性物理の2問	電卓および計算機能，通信機能のある時計や電話機などの使用を認めない。
		面 接	3月1日（火） 9時00分～		※新型コロナウイルス感染拡大防止のため各試験の科目や実施方法に変更がある場合は変更内容を後日通知する。 専攻照会先： 電子情報システム・応物系教務担当 （TEL）022-795-7186
	社会人	面 接	3月1日（火） 9時00分～	英語の能力を問う場合もある。	入試以前（2月下旬）に専門面接試験を行う。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため各試験の科目や実施方法に変更がある場合は変更内容を後日通知する。
	外国人留学生等	英 語		入学試験実施日から過去2年以内に受験した TOEFL®Test または TOEIC®公開テストのスコアシートの原本を出願時に提出すること。TOEFL iBT Home Edition のスコアシートも認める。（英語を母語とする学生は個別に問い合わせること。）	特別な事情がある場合は、下記照会先に相談のこと。
		基礎科目	2月28日（月） 9時30分～11時45分	力学，電磁気学，量子力学の3問。必要に応じて英訳を付す。	有資格者と認められた外国人留学生には筆答試験を免ずる。 入試以前（2月下旬）に専門面接試験を行う。
		専門科目	2月28日（月） 13時00分～14時30分	統計力学，物性物理の2問。必要に応じて英訳を付す。	電卓および計算機能，通信機能のある時計や電話機などの使用を認めない。
		面 接	3月1日（火） 9時00分～		※新型コロナウイルス感染拡大防止のため各試験の科目や実施方法に変更がある場合は変更内容を後日通知する。 専攻照会先： 電子情報システム・応物系教務担当 （TEL）022-795-7186

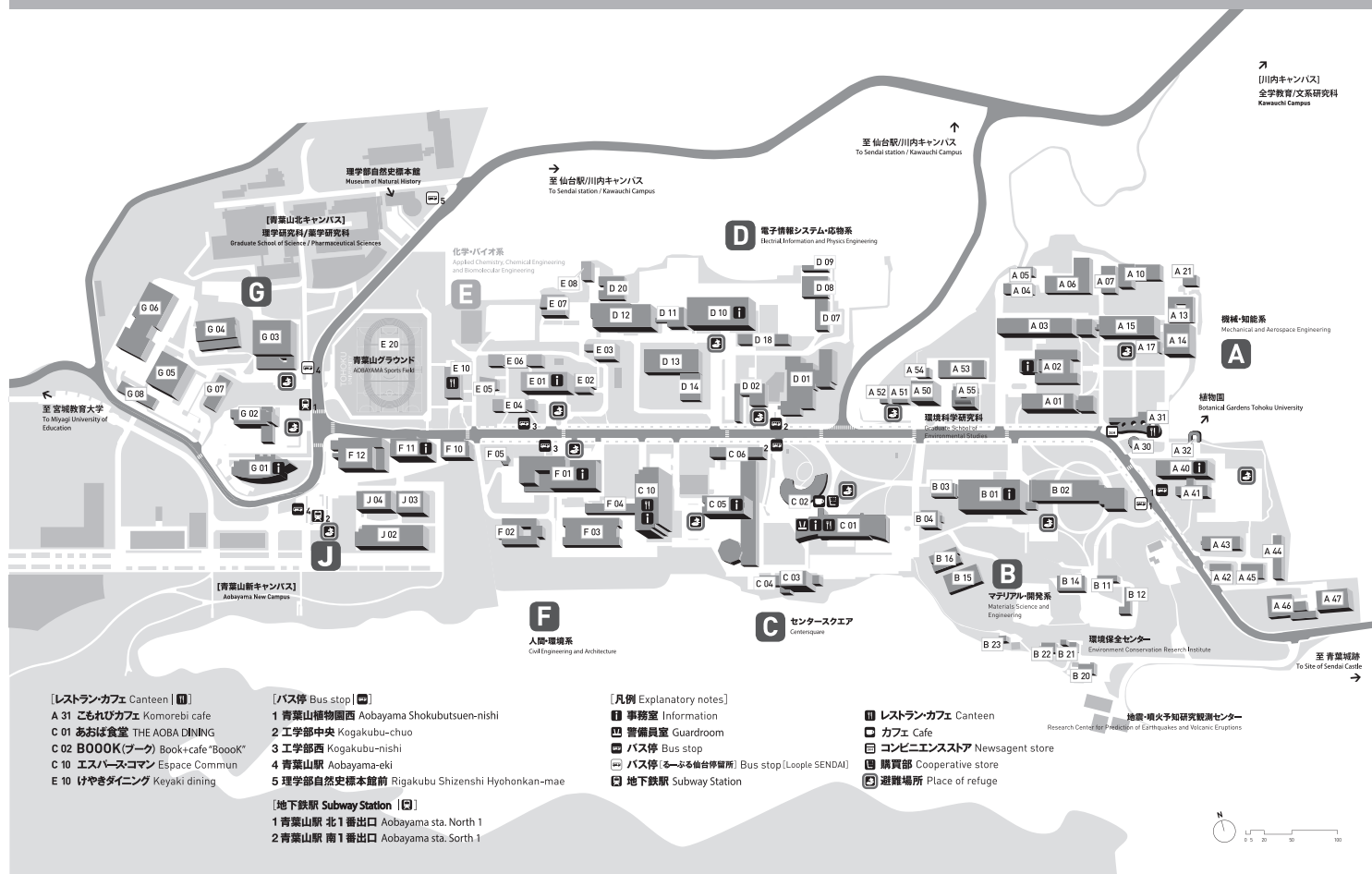
専 攻	選 抜	試験科目	試験日時	試験内容	備 考
応 化 バイ 用 学 オ 化 工 学 学 専 専 攻 攻 攻	社 会 人	小 論 文	2 月 28 日 (月) ～ 3 月 1 日 (火) 120 分	和文及び英文要旨	新型コロナウイルス感染拡大防止のため対面での試験が実施できない場合は、オンラインツール (Zoom 等) により試験を実施する。
		面 接	2 月 28 日 (月) ～ 3 月 1 日 (火) 20 分		
	外 国 人 留 学 生 等	基礎科目	2 月 28 日 (月) ～ 3 月 1 日 (火) 100 分 100 分	物理化学, 分析化学 数学, 有機化学	専攻照会先： 化学・バイオ系事務室教務担当 (TEL) 022-795-7205 専攻ホームページ： http://www.che.tohoku.ac.jp/index-j.html
		専門科目	2 月 28 日 (月) ～ 3 月 1 日 (火) 50 分	受験者の専門分野	
		英 語	2 月 28 日 (月) ～ 3 月 1 日 (火) 50 分		
		面 接	2 月 28 日 (月) ～ 3 月 1 日 (火) 30 分		

専 攻	選 抜	試験科目	試験日時	試験内容	備 考
材 料 工 学 専 攻 知 能 デ シ ス テ ム 工 学 専 攻 金 属 フ ロ ン テ イ ア 工 学 専 攻	社 会 人	英 語		入学試験実施日から過去2年以内に受験した TOEFL®Test・TOEIC®公開テストのスコアシートの原本を出願時に提出すること。	(1)対象となる TOEFL®Test・TOEIC®公開テストの種類等詳細については、以下のホームページで確認すること。 http://www.material.tohoku.ac.jp/admission/index.html (2)日程等については個別に連絡する。 (3)電卓の持込みを認めない。
		口頭試問	2月28日(月)～ 3月2日(水) 30分	物理、化学、材料化学、材料物性、材料加工の5科目	詳細については専攻に問い合わせるか、あるいは以下のホームページで確認すること。 http://www.material.tohoku.ac.jp/admission/index.html *新型コロナウイルス感染拡大防止のため対面での試験が実施できない場合の試験方法については別途受験者に通知する。 専攻照会先： マテリアル・開発系事務室教務担当 (TEL) 022-795-7373
		数 学	2月28日(月)～ 3月2日(水) 60分	微分・積分、常微分方程式 線形代数(ベクトル・行列・行列式)、ベクトル解析、複素関数論、フーリエ級数・フーリエ変換、ラプラス変換など	
		面 接	2月28日(月)～ 3月2日(水) 10分 口頭試問と同時に行う		
	外 国 人 留 学 生 等	英 語		入学試験実施日から過去2年以内に受験した TOEFL®Test・TOEIC®公開テストのスコアシートの原本を出願時に提出すること。	(1)対象となる TOEFL®Test・TOEIC®公開テストの種類等詳細については、以下のホームページで確認すること。 http://www.material.tohoku.ac.jp/admission/index.html (2)英語に関して有資格者と認められた者についてはスコアシートの提出を免除することがある。詳しくは受入予定教員に問い合わせること。 (3)日程等については個別に連絡する。 (4)電卓の持込みを認めない。
		口頭試問	2月28日(月)～ 3月2日(水) 30分	物理、化学、材料化学、材料物性、材料加工の5科目 同時に日本語能力について判定	詳細については専攻に問い合わせるか、あるいは以下のホームページで確認すること。 http://www.material.tohoku.ac.jp/admission/index.html *新型コロナウイルス感染拡大防止のため対面での試験が実施できない場合の試験方法については別途受験者に通知する。 専攻照会先： マテリアル・開発系事務室教務担当 (TEL) 022-795-7373
		数 学	2月28日(月)～ 3月2日(水) 60分	微分・積分、常微分方程式 線形代数(ベクトル・行列・行列式)、ベクトル解析、複素関数論、フーリエ級数・フーリエ変換、ラプラス変換など	
		面 接	2月28日(月)～ 3月2日(水) 10分 口頭試問と同時に行う		

専 攻	選 抜	試験科目	試験日時	試験内容	備 考
土 木 工 学 専 攻	社 会 人	小 論 文	2 月 28 日 (月) 9 時 30 分～11 時 00 分	土木工学関連のテーマ	(1) 電卓・辞書及び計算機能や通信機能のある時計の使用は認めない。 (2) 過去の入試問題・出題範囲等は、以下の Web サイトを参照すること。 https://www.civil.tohoku.ac.jp/admission/index.html (3) 左記に記載のない試験の日時・場所、試験時の注意事項等は専攻より別途通知する。 (4) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため対面での試験が実施できない場合はオンラインで実施する。試験実施前にオンライン接続確認を行うので、その際に詳細な試験方法については連絡する。 専攻照会先： 人間・環境系事務室教務担当 TEL 022-795-7489
		面 接	2 月 28 日 (月)	勤務先での研究又は業務の内容、志望動機、入学後の研究に関する希望等について試問する。	
	外 国 人 留 学 生 等	英 語		入学試験実施日から過去 2 年以内に受験した TOEFL®Test または TOEIC®公開テストのスコアシートの原本を出願時に提出すること。	
		基礎科目	2 月 28 日 (月) 13 時 00 分～14 時 00 分	以下の 4 問から 2 問を選択すること。 微分積分 (1 問)、線形代数 (1 問)、確率統計 (1 問)、生物・生態学 (1 問)	
		専門科目	2 月 28 日 (月) 15 時 00 分～16 時 00 分	以下の 3 科目 (社会基盤デザイン学、水環境デザイン学、都市システム計画学) から 1 科目を選択し、選択した科目内の 2 問を選択。 社会基盤デザイン学：構造工学 (1 問)、コンクリート工学 (1 問)、地盤工学 (1 問) 水環境デザイン学：水理学 (1 問)、河川工学 (1 問)、水質工学 (1 問)、環境計画 (1 問) 都市システム計画学：計画数理 (1 問)、交通計画 (1 問)、交通工学 (1 問)	
		面 接	2 月 28 日 (月) 又は 3 月 1 日 (火)	出身大学で受けた教育の内容又は卒業論文 (現在作成中のものを含む) の内容、志望動機、入学後の研究に関する希望等について試問する。	

専攻	選抜	試験科目	試験日時	試験内容		備考
都市・建築学専攻	社会人	小論文		出願者に別途、小論文のテーマを送付するので、指定の期日までに提出すること。		(1) 日時・場所は専攻から通知する。 (2) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため対面での試験が実施できない場合の試験方法については、別途受験者に通知する。 専攻照会先： 人間・環境系事務室教務担当 TEL 022-795-7489
		口頭試問	2月28日（月） 又は 3月1日（火） （専攻より指示する）	小論文の内容についての試問		
		面接	2月28日（月） 又は 3月1日（火） （専攻より指示する）	口頭試問と同時に行う。		
	外国人留学生等	英語		入学試験実施日から過去2年以内に受験した TOEFL®Test または TOEIC®公開テストのスコアシートの原本を出願時に提出すること。		(1) 志願講座毎に試験科目及び試験時間が異なるので注意すること。 (2) 都市・建築デザイン学講座志望の受験者は、設計作品等についてまとめたポートフォリオを提出すること。その他の講座志望の受験生についてもポートフォリオを提出して面接時に活用してもよい。 (3) 志望者の希望に応じて、試験時に英訳した問題も配付する。問題の英訳配付を希望する場合は、事前に専攻に照会すること。 (4) 電卓、辞書の使用は認めない。 (5) 過去の入試問題は、本専攻のホームページを参照のこと。 http://www.archi.tohoku.ac.jp/ (6) 面接の日時・場所は専攻から通知する。 (7) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため対面での試験が実施できない場合の試験方法については、別途受験者に通知する。 専攻照会先： 人間・環境系事務室教務担当 TEL 022-795-7489
		専門科目	2月28日（月） 13時30分～16時30分	都市・建築デザイン学講座	設計製図	
				都市・建築計画学講座	建築計画，都市計画，建築史に関する問題を各1～3問程度出題	
				サステナブル空間構成学講座	建築環境・設備工学，建築材料学，建築構造学に関する問題を各1～3問程度出題	
				建築構造工学講座	建築構造力学，鉄骨造，RC造，振動論，建築防災工学に関する問題を各1～3問程度出題	
	面接	2月28日（月）又は 3月1日（火） （専攻より指示する）				

専 攻	選 抜	試験科目	試験日時	試験内容	備 考
技術社会システム専攻	社会人	小 論 文		一般常識および本専攻がカバーする専門分野とそれに関する社会問題を題材とした小論文によって、本専攻での修学にふさわしい論理的思考力、表現力、基礎学力を有しているかを評価する。 出願者に別途、選択式のテーマを送付するので、指定の期日までに提出すること。	(1) 成績証明書の内容によって、筆答試験の一部を免除することがある。 (2) 口頭試験の日時・場所は、専攻より別途通知する。 専攻照会先： 事務室 TEL 022-795-3863 専攻ホームページ： https://www.most.tohoku.ac.jp
		口 頭 試 問	2 月 28 日（月） ～ 3 月 2 日（水） （専攻より指示する）	小論文の内容について発表。小論文と発表の内容に対して試問を行う。 また、基礎学力、および入学後の研究分野の適正についても評価する。 口頭試問の時間は 1 人あたり 3 0 分程度である。	
	外国人留学生等	英 語		入学試験実施日から過去 2 年以内に受験した TOEFL®Test または TOEIC®公開テストのスコアシートの原本を出願時に提出すること。 TOEFL iBT Home Edition のスコアも認める。	
		小 論 文		一般常識および本専攻がカバーする専門分野とそれに関する社会問題を題材とした小論文によって、本専攻での修学にふさわしい論理的思考力、表現力、基礎学力を有しているかを評価する。 出願者に別途、選択式のテーマを送付するので、指定の期日までに提出すること。	
		口 頭 試 問	2 月 28 日（月） ～ 3 月 2 日（水） （専攻より指示する）	小論文の内容について発表。小論文と発表の内容に対して試問を行う。 また、基礎学力、および入学後の研究分野の適正についても評価する。 口頭試問の時間は 1 人あたり 3 0 分程度である。	



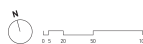
【レストラン・カフェ Canteen】
A 31 こもれびカフェ Komorebi cafe
C 01 おおは食堂 THE AOBIA DINING
C 02 BOOOK(ブーク) Book+cafe "Boook"
C 10 エスペースコマン Espace Commun
E 10 けやきダイニング Keyaki dining

【バス停 Bus stop】
1 青葉山植物園 Aobayama Shokubutsuen-nishi
2 工学部中央 Kogakubu-chuo
3 工学部西 Kogakubu-nishi
4 青葉山駅 Aobayama-eki
5 理学部自然科学棟前 Rigakubu Shizenshi Hyohonkan-mae

【地下鉄駅 Subway Station】
1 青葉山駅 北1番出口 Aobayama sta. North 1
2 青葉山駅 南1番出口 Aobayama sta. South 1

【凡例 Explanatory notes】
① 事務室 Information
② 警備員室 Guardroom
③ バス停 Bus stop
④ バス停(ロープウェイ乗り場) Bus stop (Loopie SENDAI)
⑤ 地下鉄駅 Subway Station

⑥ レストラン・カフェ Canteen
⑦ カフェ Cafe
⑧ コンビニエンスストア Newsagent store
⑨ 購買部 Cooperative store
⑩ 避難場所 Place of refuge



A 機械・知能系 Mechanical and Aerospace Engineering

- A 01 機械系1号館 [M1] ②
- Mechanical Eng. Research Building 1
- A 03 機械系2号館 [M2] ②
- Mechanical Eng. Research Building 2
- A 02 機械系講義棟 ②
- Mechanical Eng. Lecture Room Building
- A 05 機械系実験棟 [M-I]
- Mechanical Eng. Research Laboratory I
- A 04 機械系実験棟 [M-J]
- Mechanical Eng. Research Laboratory J
- A 06 機械系実験棟
- Mechanical Eng. Laboratory Building
- A 07 機械・知能系教育実験棟・高機能試作センター
- Mechanical and Aerospace Eng. Laboratory for Students & Nano-Precision Machining Shop
- A 15 機械・知能系共同棟 ②
- Mechanical and Aerospace Eng. Research Building
- A 10 機械系環境材料強度研究棟
- Mechanical Eng. Environmental Strength Research Laboratory
- A 14 マイクロ・ナノマシニング研究教育センター
- Micro/Nano-Machining Research and Education Center Micromachining Facility
- A 17 マイクロ・ナノマシニング研究教育センター
- Micro/Nano-Machining Research and Education Center Nanomachining Facility

- A 40 量子エネルギー工学専攻本館 Quantum Science and Energy Eng. Research Building ②
- A 41 量子エネルギー工学専攻講義棟 Quantum Science and Energy Eng. Lecture Room Building
- A 42 放射能災害再生工学研究センター研究棟
- Center for Remediation Eng. Research of Nuclear Disasters Research Building
- A 43 放射能同位元素実験室 Quantum Science and Energy Eng. Radioisotope Laboratory
- A 44 先進核融合炉工学総合実験棟 Integrated Laboratory for Advanced Fusion Reactor Eng.
- A 45 放射能災害再生工学研究センター実験棟
- Center for Remediation Eng. Research of Nuclear Disasters Laboratory Building
- A 46 高速中性子実験室 Fast Neutron Laboratory
- A 47 超界面薄膜実験室 Subcellular Assembly ②

- A 13 ナノ工学研究棟
- Nano-Biomedical Eng. Research Building
- A 21 ナノ工学実験棟
- Nano-Biomedical Eng. Research Laboratory
- 環境科学研究科 Graduate School of Environmental Studies
- A 50 環境科学研究科研究棟 ②
- Graduate School of Environmental Studies Research Building
- A 51 環境科学研究科講義棟
- Graduate School of Environmental Studies Lecture Room Building
- A 52 環境科学研究科地盤環境強度特別実験室
- Graduate School of Environmental Studies Geotechnical Research Laboratory
- A 53 環境科学研究科実験棟
- Graduate School of Environmental Studies Research Laboratory
- A 54 環境科学研究科研究棟アネックス
- Graduate School of Environmental Studies Research Building Annex
- A 55 エコラボ EcoLab

- A 30 自動車の過去・未来館
- Automobile Museum
- A 31 デイリーヤマザキ・こもれびカフェ [C] ②
- Daily Yamazaki Komorebi Cafe
- A 32 東北大学植物園 青葉山植物園ゲート
- Botanical Gardens Tohoku Univ. Aobayama Gate

B マテリアル・開発系 Materials Science and Engineering

- B 01 マテリアル・開発系教育研究棟 Materials Science and Eng. Education and Research Building ②
- B 02 マテリアル・開発系材料実験棟 Materials Science and Eng. The Materials Experiments Building ②
- B 03 マテリアル・開発系大講義棟 Materials Science and Eng. Lecture Hall
- B 04 マテリアル・開発系共同研究棟 Materials Collaborative Research Building
- B 11 革新材料研究棟 Materials Evolution Research Building
- B 12 マテリアル・開発系実験・研究棟 Materials Science and Eng. Research and Machining Building
- B 14 教育研究基盤支援棟17 [M5] Education and Research Base Support Building 17 [M5]
- B 15 教育研究基盤支援棟14 [M2] Education and Research Base Support Building 14 [M2]
- B 16 教育研究基盤支援棟13 [M1] Education and Research Base Support Building 13 [M1]

- 環境保全センター Environmental Conservation Research Institute
- B 20 環境保全センター実験施設環境棟 Environmental Conservation Research Institute
- B 21 環境保全センター実験研究棟 Environmental Conservation Center Experimental Research Building ②
- B 22 環境保全センター分析棟 Environmental Conservation Center Analysis Laboratory
- B 23 環境保全センター教員棟 Environmental Conservation Center Office

C センタースクエア Centresquare

- C 01 センタースクエア中央棟 (Centresquare CENTER HALL) ② ② ②
- おおは食堂 AOBIA DINING ②
- C 02 Book+cafe BOOOK Book+cafe BOOOK [C] ②
- C 03 青葉記念会館 Aoba Memorial Hall ②
- C 04 青葉山会館 Aobayama Hall
- C 05 工学部管理棟 工学研究科 / サイエンスキャンパスホール ② ②
- School of Engineering Administration Office
- C 06 ハッチェリースクエア Hatchery Square
- C 10 工学研究科総合支援棟 技術社会システム専攻 ② Engineering Laboratory Complex Building ② ② ②

D 電子情報システム・応物系 Electrical, Information and Physics Engineering

- D 01 附属図書館工学分館 Information Library ②
- D 02 創造工学センター Innovation Plaza
- 電子情報システム・応物系 Electrical, Information and Physics Engineering
- D 07 教育研究基盤支援棟10 [E5] Education and Research Base Support Building 10 [E5]
- D 08 教育研究基盤支援棟11 [E6] Education and Research Base Support Building 11 [E6]
- D 09 教育研究基盤支援棟12 [E7] Education and Research Base Support Building 12 [E7]
- D 10 電子情報システム・応物系1号館 EPE Building 1 ② ②
- D 11 電子情報システム・応物系1号館別館 EPE Building 1 Annex
- D 12 電子情報システム・応物系2号館 EPE Building 2 ②
- D 13 電子情報システム・応物系教育研究実験棟 EPE Education and Research Building ②
- D 14 電子情報システム・応物系復興記念教育研究未来館 EPE Future Hall
- D 18 電子情報システム・応物系南講義棟 EPE Lecture Room Building
- D 20 教育研究基盤支援棟7 [E2] Education and Research Base Support Building 7 [E2]

E 化学・バイオ系 Applied Chemistry, Chemical Engineering and Biomolecular Engineering

- E 01 化学・バイオ系研究棟本館 ② ②
- Applied Chemistry, Chemical Eng. and Biomolecular Eng. Main Research Building
- E 02 化学・バイオ系研究棟分館
- Applied Chemistry, Chemical Eng. and Biomolecular Eng. Research Building Annex
- E 03 化学・バイオ系第二研究棟
- Applied Chemistry, Chemical Eng. and Biomolecular Eng. Research Building 2
- E 04 化学・バイオ系講義棟
- Applied Chemistry, Chemical Eng. and Biomolecular Eng. Lecture Room Building
- E 05 化学・バイオ系大講義棟
- Applied Chemistry, Chemical Eng. and Biomolecular Eng. Lecture Hall
- E 06 化学・バイオ系実験棟
- Applied Chemistry, Chemical Eng. and Biomolecular Eng. Laboratories for Students
- E 08 超臨界流体工学研究棟 Supercritical Fluid Research Laboratory

- E 07 工学研究科総合実験棟
- Complex Building of Engineering Experimental Research Laboratories
- E 10 けやきダイニング KEYAKI DINING ② ②
- E 20 青葉山グラウンド AOBAYAMA Sports Field ②

F 人間・環境系 Civil Engineering and Architecture

- F 01 人間・環境系教育研究棟 ② ②
- Civil Eng. and Architecture Education and Research Building
- F 02 建築実験棟 Laboratory Building of Architecture and Building Science
- F 03 社会環境工学実験棟 Laboratory Building of Civil and Environmental Eng.
- F 04 教育研究基盤支援棟19 [A1] Education and Research Base Support Building 19 [A1]
- F 05 建築CLTモデル実証棟 CLT Demonstration Building
- F 10 東北大学連携ビジネスインキュベーター-Biz
- T-Biz Business Incubator collaborated with Tohoku University
- F 11 未来科学技術共同研究センター本館 ② ②
- NiChE New Industry Creation Hatchery Center
- F 12 未来情報産業研究棟 Fluctuation Free Facility for New Information Industry ②

G 情報科学研究科教育研究棟 Graduate School of Information Science Education and Research Building

- G 02 電子情報システム・応物系3号館 EPE Building 3 ②
- G 03 青葉山体育館 Aobayama Gymnasium ②
- G 04 建築実験所 Laboratory of Architecture and Building Science ②
- G 05 サイバーサイエンスセンター CyberScience Center ②
- G 06 学際科学フロンティア研究所 ②
- Frontier Research Institute for Interdisciplinary Sciences
- G 07 教育研究基盤支援棟6 [E1] Education and Research Base Support Building 6 [E1]
- G 08 サイバーサイエンスセンター2号館 CyberScience Center 2

- J 02 レアメタル総合棟 Laboratory for Rare Metal Research ②
- J 03 レジリエント社会構築イノベーションセンター
- Innovation Center for Creation of a Resilient Society
- J 04 未来産業技術共同研究棟 NiChE New Industry Creation Hatchery Center Annex

所在地 〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-04
アクセス 仙台市地下鉄東西線：仙台駅から八木山動物公園行きに乗り、青葉山駅で下車（所要時間約9分、運賃250円）
北1番出口又は南1番出口から徒歩約10分～15分
タクシー：仙台駅西口から乗車。運賃は1,800円

【凡例 Explanatory notes】

- ① 事務室 Information
- ② 警備員室 Guardroom
- ③ レストラン・カフェ Canteen
- ④ カフェ Cafe
- ⑤ コンビニエンスストア Newsagent store
- ⑥ 購買部 Cooperative store
- ⑦ 自動体外式除細動器AED